

『MitraClip』（マイトラクリップ）について



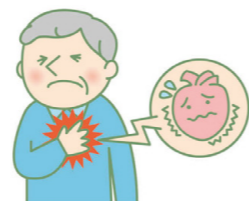
監修 循環器内科部長 井上修二郎

今回は、この僧帽弁閉鎖不全症の患者さんための治療法「**マイトラクリップ**」についてご紹介いたします。

今回は、この僧帽弁閉鎖不全症の患者さんための治療法「**マイトラクリップ**」についてご紹介いたします。

今回は、この僧帽弁閉鎖不全症の患者さんための治療法「**マイトラクリップ**」についてご紹介いたします。

「心臓弁膜症」について



2023.2  
no.199

飯塚病院だより

飯塚病院だより

no. 199

2023年(令和5年)2月15日 編集・発行 飯塚病院 広報課 印刷 マツオ印刷株式会社

01 飯塚病院がデミング賞を

受賞しました！

デミング賞とは

デミング賞はTQM(総合的品質管理)に関する世界最高ランクの賞であり、経営目標・戦略の実現に向けてTQMが適切に活用され効果をあげるとともに、将来の発展に必要な組織能力を獲得していることが評価された組織に授与されます。

デミング賞への挑戦

医療を取り巻く環境が厳しさを増す中で、2016年にデミング賞を受賞したトヨタ自動車九州株式会社(福岡県宮若市)に続き、同じ筑豊地域からのデミング賞受賞を目指し、当院はチャレンジを開始しました。コロナ禍の困難な状況の中でしたが、推進してきたTQMをさらに強化し、長年にわたる改善活動で培った組織の力を背景に、健全経営を基盤とする質の高い「まごころ医療」の実現と、将来にわたり発展していく力を備えるための取り組みを推し進め、当院は2022年度デミング賞受賞を達成しました。国内外を含め、医療機関で初めてのデミング賞受賞となり、大変大きな意義がありました。



飯塚病院 デミング賞 特設ページ



02

新任部長のご紹介(2022年11月16日就任)



耳鼻咽喉科 深堀 光緒子

11月16日付で着任致しました。これまで久留米大学病院や聖マリア病院をはじめ八女筑後地域の病院で診療を行っていました。筑豊地域は初めてで、また地域医療の要である飯塚病院での仕事にやり甲斐を感じながらも気が引き締まる思いです。

私の専門は音声(喉頭)・嚥下、頭頸部腫瘍ですが、耳鼻咽喉科・頭頸部外科として「スタッフ全員で何でも診る」というスタンスで診療を行っております。地域医療に貢献するとともに皆様のお役に立てるよう努力したいと思います。何卒宜しくお願い致します。

03

飯塚病院公式LINEでは、医療に関するさまざまな情報をお届けしています。

友だち登録の手順

QRコードから友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」→ QRコード
- ② 下記のQRコードを撮影
- ③ 追加をタップで登録完了

ID検索から友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」→ 検索
- ② 「ID」を選択 → 「@qsu3427e」を入力
- ③ 追加をタップで登録完了

※登録いただいた方の氏名や画像などは、病院側からはわからないシステムです。

LINE公式アカウント

医療に関する「知っ得」情報を、LINEでお届け。



飯塚病院

飯塚病院

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83 Tel.0948-22-3800(代表)

QRコードから検索できます

ホームページ



医療者監修コラム  
ピカラダ



LINE@



facebook





# 特集 『MitraClip』（マイトラクリップ）について

飯塚病院は2022年春より、『MitraClip』（マイトラクリップ）導入施設に認定され、同年12月よりこの『MitraClip』治療を開始しました。これまで筑豊地域では出来なかつた重症の弁膜症患者さんの治療がカテーテルで出来るようになり、治療の選択肢が増えたことは非常に意義が大きいと考えています。今回はこの僧帽弁閉鎖不全症の治療法についてお伝えします。

## 僧帽弁閉鎖不全症とは

僧帽弁閉鎖不全症とは、心臓の左心房と左心室の間にある大きく2枚からなる僧帽弁がうまく閉じなくなり、心臓（左心室）が収縮したときに左心房に血液が逆流してしまう病気です。この血液の逆流により、左心房と左心室に負担がかかり、心臓のポンプ機能が損なわれていきます。症状は、かなり進行してからでないといけません。症状は、かなり進行して肺や心臓に自覚症状を感じにくく、進行して肺や心臓に負担がかかるようになると、運動時の息切れ、咳（心臓喘息）などが現れ、やがて安静時の息切れや呼吸困難を感じるようになります。また、心房細動という病気を合併しやすく、動悸やめまい、胸痛なども感じるようになります。脳梗塞を起こす危険も増大します。症状の出方には個人差があり、僧帽弁閉鎖不全症とわかつてから長い時間をかけて徐々に進行する場合もあれば、急激に悪化して重症の心不全に陥ってしまう場合もあります。

## 僧帽弁閉鎖不全症の症状



### 心房への負担による症状

- \* 心房細動等の不整脈の誘発
- \* 動悸やめまい
- \* 胸痛（胸部不快感）



### 心臓ポンプ機能の低下による症状

- \* 足、顔、まぶたのむくみ
- \* 体重増加
- \* 指のさきの色調異常（チアノーゼ）

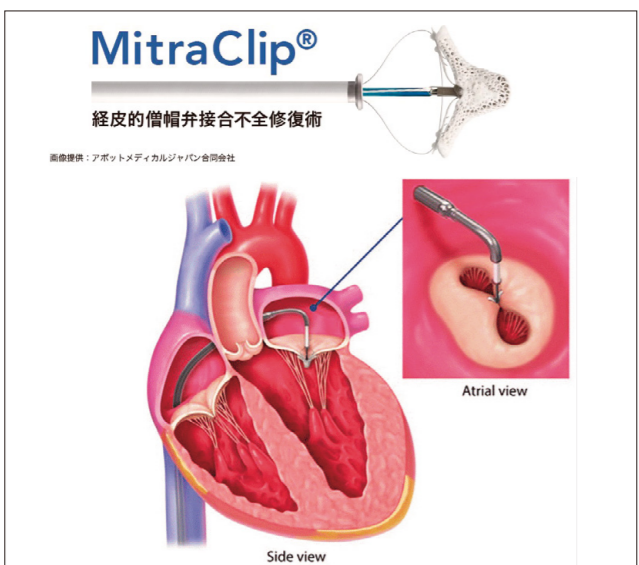


### 肺への血流うっ滞の症状

- \* 咳
- \* 運動時の息切れ

## MitraClip（マイトラクリップ）とは

MitraClip は外科的治療が困難な重度の僧帽弁閉鎖不全症の患者さんのための、低侵襲な**経皮的僧帽弁接合不全修復システム**です。僧帽弁の前尖と後尖をクリップで挟み込み、弁を引き合わせることで僧帽弁の逆流を少なくするカテーテル治療で、ヨーロッパでは2008年に、アメリカでは2013年に承認を受け、これまでに50か国以上で6万人以上の治療実績があります。国内では2018年4月から保険適用となった新しい治療法です。



## 治療法について

実際の治療は全身麻酔下で行い、経食道心エコー図検査で心臓や弁の状態を確認しながら進めていきます。足の付け根の静脈（大腿静脈）からカテーテルを右心房まで挿入した後、専用の針で右心房と左心房の間にある壁（心房中隔）に穴をあけてカテーテルを左心房まで進めます。カテーテルの先端についたクリップを僧帽弁の逆流部位に持ち込み、クリップでつかみ取ります。逆流が減っていることを確認してクリップを留置します。逆流が残存している場合はクリップを置き直すことが可能で追加のクリップを留置することもできます。留置後、足の付け根を止血し治療が終了となります。治療時間は2〜4時間ほどで、合併症等がなければ1週間程度で退院が可能です。

## MitraClip（マイトラクリップ）のメリット

### ①患者さんの身体への負担軽減

カテーテルを使ってクリップを患者さんの心臓に留置するため、胸を大きく切開することもなく、また心臓を止めることもなく治療を行うので患者さんの身体への負担が少ないのが特徴です。

### ②外科手術が行えない患者さんに対しても治療が可能

ご高齢のため体力が低下している、心臓以外の

併存症のため外科手術が行えない、もしくは心臓の余力がなく手術リスクが高い患者さんに対しても治療が可能です。

③**基本的に術中の輸血は不要**  
大きく切開することがありませんので、通常輸血なしで施行することができます。

④**入院期間の短縮**  
身体への負担が少なく治療を行えることで入院期間が短くなり、早期社会復帰の実現が可能です。

## 最後に……

飯塚病院も、2022年春よりMitraClip導入施設に認定され、トレーニングを開始いたしました。そして、2022年12月、無事に初回症例を成功することができました。これまで治療が難しいと考えられてきた心不全患者さんへの新しい治療戦略として、今後も安全に実施できるように、循環器病センター、ハートチーム一丸となり、全力を尽くして治療を行っていきます。お悩みの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

